

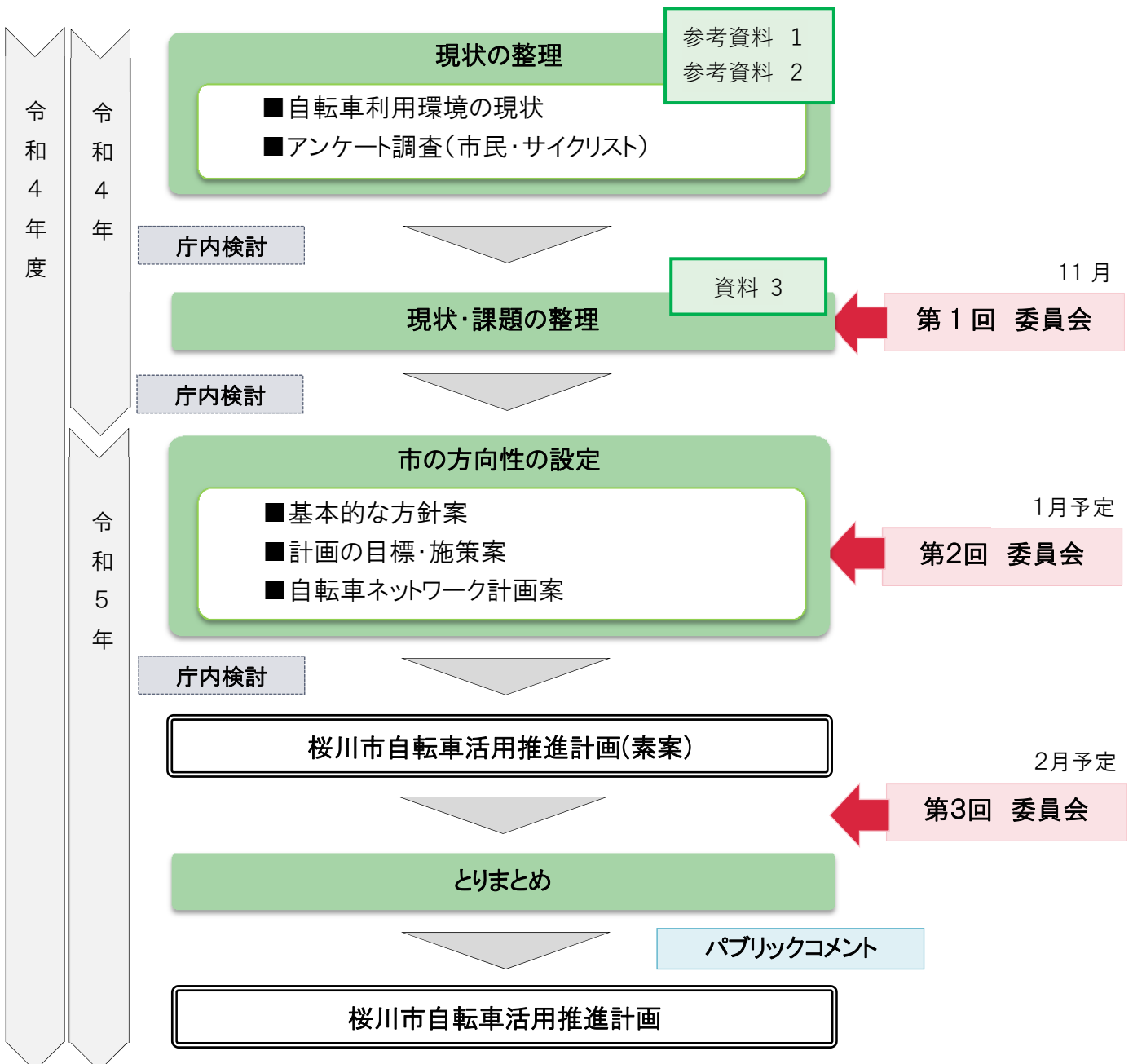
桜川市自転車活用推進計画の策定について

1. 策定の目的

- 日常生活における身近な移動手段の自転車は、環境負荷の低減や健康増進、災害時の交通機能の維持などの新たな課題に対応する需要が高まっています。
- 本市においても、つくば霞ヶ浦りんりんロード(以下、りんりんロード)等の資源と絡め、日常生活における自転車の利活用の推進と、サイクルツーリズムの推進による地域の活性化や交流人口の拡大を図ります。



2. 計画策定までのながれ

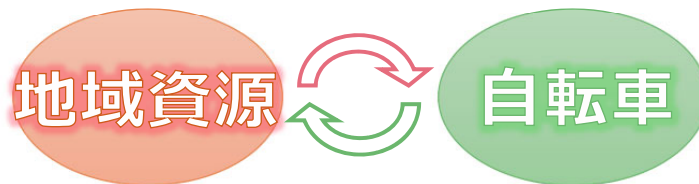


3. 計画策定における大切にしたい3つの方針

～計画策定における3つの大切な視点～

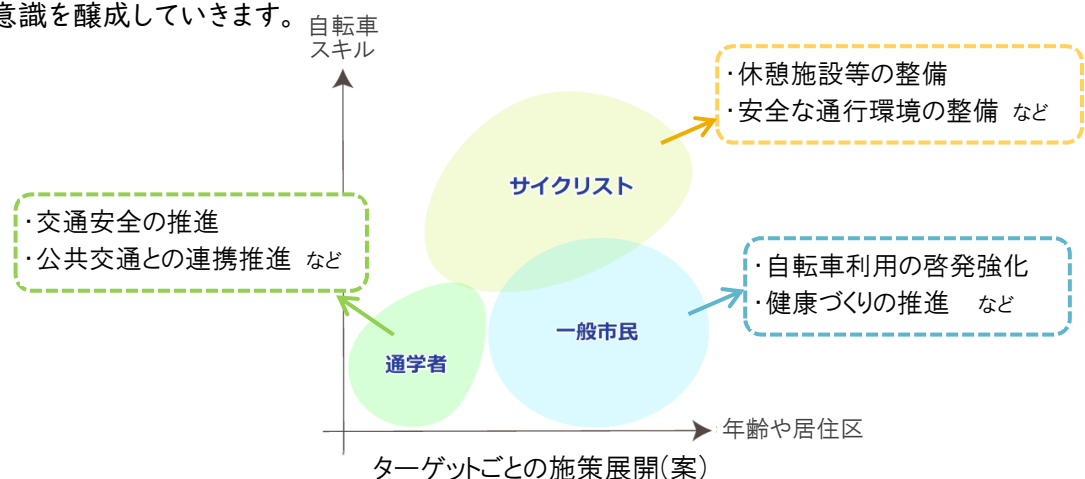
視点1: 自転車を利活用し、桜川市の魅力や価値を高める

- ◇ 本市の地域特性や住民や来訪者の要望に沿った計画とすることが重要です。
- ◇ 地域資源として、市南北を通るりんりんロード、ヤマザクラなど四季折々の移ろいを感じることができる山々、みどり豊かな田園風景や歴史的街並み地区等があります。さらに、岩瀬駅周辺や大和駅・桜川筑西 IC 周辺の拠点整備の強化など、新たな拠点づくりを進めています。
- ◇ 自転車利用環境をより良くしていくことで、住民のみにとどまらず、市外からのサイクリストにも上記の本市地域資源を巡ってもらい、本市の魅力や価値を高め、地域振興につなげていきます。



視点2: 自転車を利活用し、住民の健康増進や SDGs推進の意識を醸成する

- ◇ 近年のまちづくりにおいては脱炭素社会や SDGsの推進も重要なテーマです。コロナ禍での通学・通勤や持続可能な公共交通、健康寿命の延伸における自転車の利活用が期待されます。
- ◇ 自転車利活用のターゲットは広く、画一的な取組は難しいため、自転車スキルや属性に見合う的確な施策を展開し、身近な交通手段として活用してもらうとともに、住民の健康増進や SDGs 推進の意識を醸成していきます。



視点3: 自転車を利活用し、県や近隣市町との広域連携を推進する

- ◇ 本市の観光客数は横ばい傾向にあり、市内は人口減少・高齢化が進展する中、交流人口の拡大も配慮し、新たな観光客の誘致が求められます。
- ◇ 本市は筑波山系やりんりんロードや県の自転車ネットワークを市内に有しているとともに、自転車利用が活発な栃木県やつくば市等とも接しています。そのため、多くの自転車利用者の通り道となっているため、交流人口を市内の立ち寄りや観光に取り組んでいくことが期待されます。
- ◇ 自転車利用者を市内に取り込むため、本市の役割を明確化した上で、県や近隣市町との広域連携を推進します。



いばらき自転車ネットワーク路線
(いばらき自転車活用推進計画より編集)